



幼少年キャンプ研究会カウンセラーユニオンニュースレター

WILDERNESS

〒300-3253茨城県つくば市大管根3765-4 029-895-3775 info@yoshonencamp.com www.yoshonencamp.com

FEATURE

今月の特集

○ファジアーノ岡山ウインターキャンプ

遭難からの脱出。選手の成長。

○つまごいスキーキャンプカウンセラー募集

キャンプまであと2ヶ月、ことしもキャンパーに最高の体験を！！

○第2回研修合宿

つまごい直前のスキー研修合宿、一足先につまごいを楽しもう

○FC東京ジュニアユースキャンプスタッフ募集

天皇杯を制したFC東京、未来の日本代表を育てよう

○各種業研修スタッフ募集

年度替わりは、新入社員研修がめじろおし。日頃の研修成果を是非発揮して下さい。

FOREWORD

冬どまんなか。みなさん山にスキーにと飛び出していることと思います。

さて、ここ3年間の恒例行事となりましたファジアーノ岡山のウインターキャンプ。毎年Youtubeにメディアリリースがアップされ、ご覧になっている人が多いと思います。本紙の報告にもある通り、今年は、遭難事件が起きました。花山0G・0Bであれば、「遭難」はあまり遠い世界のことでなく、中にはそれを経験し、その心理状態を理解できる人もいるかと思えます。

そこで今回の事故を題材に、ハードが先か、ソフトが先か、という命題を一つ投げかけたいと思います。地図コンのスキル、雪山での緊急ビバークの技術、これは、ハードスキルと言います。月例会や、研修合宿では、主にハードスキルの習得をめざします。一方、選手の安全に責任を持ったり、間違ったと思ったら、自分の否を認め、修正する態度など、これらはソフトスキル（バクはさらにメタスキルと分類しますが）と言います。

今回の事故が、一班が間違ったルートを降りていき、それに全班、何の疑問もなく（疑問を持ってもしんこ暗鬼のまま）、降りていったのが真実です。もし絶対的な地図コンのテクニクを持っていたら、これは回避できたのでしょうか？もし、自分の否を謙虚に認め、分からない時は分からないと言える倫理観があれば回避できたのでしょうか？

バクは、ハードスキル優先主義です。なぜなら、教育や指導は、命に比べたらはるかに優先順位が低いし、そのような環境にいるから自然と教育になると考えるからです（自然が先生）。でも、その考えも少しづらついています。

とかく、指導者をめざすものはスキルアップ、スキルアップと口にします。しかしそのスキル（道具）を使いこなすのは、人間です。もちろん両方にこしたことはありませんが、どっちが先かの究極の選択は、みんなでもた悩んでいきたいと思えます。

今回、一番先に降りていったリーダーを責めるつもりは微塵もありません。花山でも遭難したカウンセラーには「よくがんばった」「キャンパーを守ってくれてありがとう」という声をかけます。どの班よりも早く、自分の責任でルートファンディングをし（もしかしたらしなかったかもしれないが）、チーム全体を危機に追い込んでしまう。こんな経験はなかなかできません。今回誰が一番、ハードもソフトも成長したかと言ったら、遭難を起こした班のカウンセラーや選手でしょう。

REPORTS

○ファジアーノ岡山

ウインターキャンプ

2012年1月15日～17日の2泊3日、岡山県真庭市 中蒜山～上蒜山周辺にてファジアーノ岡山2012ウインターキャンプが開催され、CUから、プログラムディレクターとしてバク、食料・装備・カウンセラーとしてふゆりんが参加してきました。対象は、ファジアーノ岡山に所属するサッカー選手33名。6～7人の5班に分かれて活動しました。スタッフは、大阪体育大学の伊原先生（幼少研でも「モンゴル」としてカウンセラーをされていた先生！）、大阪体育大学で野外を専攻する学生4人とコラボしての活動となりました。いつもの子ども対象キャンプとはまた違う難しさ、そして楽しさを感じたキャンプでした。

1日目は、ベースとなるバイブルキャンプにてアイスブレイキングや装備配布を行い、塩釜キャンプ場へ移動しました。塩釜キャンプ場ではテント設営などの環境整備ののち、キャンプ場での活動を行いました。1日目ということもあり、始めはぎこちなかった班での活動も、これらのプログラムを通してだんだんとまとまっていく様子を見ることができました。2日目は、8時に登山出発。先頭は辛いラッセルを行わなければなりません。そこはさすがプロのサッカー選手。順番に先頭を交代しながら前へ前へと進んでいきました。しかし、途中ルートを外れてしまい、2日目は、緊急ビバークすることになりました。3日目は7時に出発。尾根を下り、予定し

ていたルートでもある沢を目指しました。前日の反省を生かし、それぞれの班が、そしてそれぞれの人が、真剣に地図とコンパスを見つめたり、周囲の地形を観察したりし、ディスカッションをしてルートを選んでいる様子が印象的でした。ファジャーノキャンプを終えて感じたことは、1つは、これから野外の指導者を目指すのであれば、「こういう効果が欲しい」「こういうチームにしたい」というような、チームからの要望に応えるプログラム作り、プログラム提供が出来なければいけないのだということです。事前のミーティングでGMさんや監督さんからキャンプの効果に関する要望を聞き、それに沿ったプログラムを提供する、という流れは、幼少研のキャンプだけでは実感できない部分だと思います。そういった場面を間近に見ることが出来たことは、とてもいい勉強になりました。また、2つ目は、地図とコンパスのスキルの未熟さです。方向がおかしいな、と思い始める遅さ。そこから100%ルートが違うと言い切れず、何かおかしいぞ、というまま付いて行ってしまったこと。最後尾を歩いてきたことへの甘え。

反省点をしっかりと受け止めていかなければいけないと思いました。そして、ひとつのキャンプに対して、たくさんの方がそれぞれに強い想いを持って向き合っているのだということをひしひしと実感しました。様々な立場の人がそれぞれに全力を尽くしてひとつのキャンプが成り立っているのだということ、その中に混ぜて頂いて仕事をもらえるということの有り難さ、その責任。そういったものを、身をもって感じたキャンプでした。
(ふゆりん)

※本活動の様子が youtube でアップされていますので、是非ご覧ください。URLはCUのHPにて記載しています。

NEWS BRIEFS

ONL 発行に関するお知らせ

今年より、NLを毎月1日に発行することが決まりました。メールBOXを常時確認しないと言う方も、是非、1日にはメールBOXを確認して頂き、NLを読んで頂けたらと思います。よろしくお願ひします。

PROFESSIONAL OPPORTUNITIES

<月例会・研修合宿の予定>

・月例会

・2月月例会

「スキー事故事例から学ぶリスクマネジメント」

日程：2月19日(日) 13:00~

場所：幼少年キャンプ研究会事務局

・3月月例会

「スキーロボットにスキーを教わろう」

(※つまごいNL発送を含みます。)

日程：3月4日(日) 13:00~

場所：幼少年キャンプ研究会事務局

・研修合宿

・第2回研修合宿

「つまごいスキーキャンプ前のスキートレーニング」

日程：3月17日(土)~18日(日)

場所：パルコールつまごいスキー場

※詳細は募集欄をご覧ください。

<参加者の募集>

○2月月例会

・2月月例会

「スキー事故事例から学ぶリスクマネジメント」

日程：2月19日(日) 13:00~

場所：幼少年キャンプ研究会事務局

参加費：1000円(飲食代、懇親会費)

スキー場と言えども、自然の中。事故は起こります。スキー場での死亡事故も、毎年発生しているのです。

指導者という立場でスキーに関わることもあるであろうCU会員の私たちも、そういった事故に備えておくことが必要です。

そこで2月の月例会では、過去に生じた事故事例から予防策や対応策を学び、事故への対応をシュミレーションすることで、もしもの時に少しでも対応できるよう、準備しておきましょう！

○第2回研修合宿

つまごい前の研修合宿、カウンセラーもそうでない人もいっしょにスキーを極めよう。

日程：3月17日(土)~18日(日)

集合：現地17日10:00(万座鹿沢口駅送迎あり)

解散：現地18日17:00(万座鹿沢口駅送迎あり)

※つくばからの参加者に車に乗り合いで移動します。

場所：パルコールつまごいスキー場

宿泊：東海大学研修センター

内容：スキースキルアップ、スキー指導法、バックカントリーナビゲーション

参加費：10000円程度(交通費別)

問い合わせ：佐藤冬果

(080-1211-8971、fuyu-sato.0103@docomo.ne.jp)

<スタッフ募集>

スキーの仕事がこれからと思いきや、既に新年度のフレッシュマン研修系の仕事が始まるおし。4月から大学生になるCUメンバーのみなさん、これまでのキャンプ、研修の成果を是非活かしてください。

<締め切り間近>

○つまごいスキーキャンプ

幼少研の冬の花形。キャンパーといっしょに白銀の世界に飛びだそう!!!

日程：2012年3月27日(火)~31日(土) 4泊5日

対象：小学校3年生~高校3年生(平成23年度)

主催：幼少年キャンプ研究会

場所：スキー場 パルコール嬬恋スキーリゾート

宿泊：東海大学嬬恋高原研修センター

指導：キャンプ長 岡村泰斗(幼少年キャンプ研究会)

プログラム係 佐藤冬果(筑波大学4年)

指導内容：スキー講習、生活指導等

募集人数：8名程度

締切：2012年2月17日(金)

問い合わせ：佐藤冬果

(080-1211-8971、fuyu-sato.0103@docomo.ne.jp)

詳細や募集チラシは、CUのHPよりご覧ください。

OFC 東京ジュニアユースチームビルディング

今年天皇杯を制した FC 東京の合宿のサポート。未来の日本代表と一緒に過ごすワンデイプログラム (ASE 初指導のみなさんにおすすめ！)

日程：2012年4月2日(月)

※新年度でまだ予定が立たない人もいるかもしれませんが、「やってみよう」という気持ちのある人は立候補願います、どうしても予定が入ってしまったらそのときはしょうがない。

対象：中学校1～3年生

場所：東京学芸大学

※CU 東京会員ウェルカム。つくば組はつくばから車で移動します。

内容：ASE(仲間作り野外ゲーム)指導

※8～9人の中学生に対し、集団問題解決型の野外ゲームの指導をします。

募集：6～7名

謝金：10000円程度(別途交通費支給)

問合：佐藤冬果(プログラム係)

(080-1211-8971、fuyu-sato.0103@docomo.ne.jp)

○新日鉄企業研修

子どもとはひと味違ったやりがい。社会人と本気で接して未来の自分の財産に

日程：2012年4月4日(水)

対象：新日鉄東海新入社員

場所：愛知県東海市(交通費支給・仕事の後はピクニック)

内容：ASE(仲間作り野外ゲーム)指導

※8～9人の社会人(20代前半)に対し、集団問題解決型の野外ゲームの指導をします。

募集：3～4名

謝金：有り(別途交通費支給)

問合：岡村泰斗

(090-6901-8817、taito@yoshonencamp.com)

○きぬ看護学校キャンプ実習

看護師のたまごたちのキャンプ指導。2日間だけど充実した指導体験を得られます。

日程：2012年4月26日(木)～27日(金) 1泊2日

対象：専門学校1年生

場所：茨城県立さしま少年自然の家

※つくばから車で移動します。

内容：ASE(仲間作り野外ゲーム)、野外炊事、キャンプ生活指導

募集：2名(大学1年生以上)

謝金：10000円程度(別途交通費支給)

問合：岡村泰斗

(090-6901-8817、taito@yoshonencamp.com)

○伊藤忠商事新人研修

日本を代表する総合商社の伊藤忠の24年度新入社員の野外研修。野外のプロと一緒にこれからの日本を背負って立つ若者とキャンプ生活

日程：2012年4月20日(金)～25日(水)のうちの3日間もしくは4日間<調整中>

対象：伊藤忠24年度新入社員120名

※60名の2つのキャンプで運営する予定

場所：花山キャンプ場及び栗駒山系

※CUのホームグラウンド花山での開催。

内容：キャンプ生活指導、栗駒登山指導。

※指導は、大学教員もしくは野外の専門家と一緒に特定の班の指導に当たります。対象が社会人ですが、野外に関してはみなさんのほうがプロ。現地を知っている皆さんが大学の先生をうまくサポートしてあげてください。

謝金：高額間違いなし。もちろん交通費支給。

募集：10名

備考：現在バクが伊藤忠と最終調整中。ボツになる可能性もありますが、スタンバイしてください。

問合：岡村泰斗

(090-6901-8817、taito@yoshonencamp.com)

キャンプと私

2月号は小松彩季さんです。



こんにちは！高校3年生の現役キャンパーあき、こと小松彩季です。残念ながらまだキャンプネームありません…絶賛募集中です。幼小中高とつくばでしたが、春からは都内の大学に進学してフランス語を学んでいく予定です。部活は、怪我やスランプに苦しみ3年半でやめてしまいましたが器械体操部に所属していました。水泳も少し。スキーは2歳でゲレンデデビューして以来毎年楽しんでます。不整地がとっても苦手なので奮闘中です。

よく、しっかりしていそう、という第一印象を持たれますが、親しくなってくるとマイペースで抜けているということがバレます(笑)。

さて、私の初めてのキャンプは、今でも良きキャンパー仲間である友達に誘われて参加した小4の時のつまごいスキーキャンプでした。これが本当に楽しかったのです。たくさんの新鮮な初めての体験をしました。それ以来、つまごいスキーキャンプにはもちろん、夏の花山キャンプにもほぼ毎年参加しています。でも初めての花山キャンプ(小5の時)では正直、宿泊登山に体力的にも精神的にもかなり圧倒されました。その後も登山にはいろいろ思い出があり、中1ではコッフェル一式を忘れて空き缶の上半分を切ったものでお米を少しずつ炊いたり、しかも遭難したり、中3では下りに泣かされたり…でもずっと花山には行き続けていますし、楽しくて大好きです！今では、登山も好きになりました。辛いけど、あの達成感や自然の中の景色はたまりません。それからビバーク

地やゴールで登山靴を脱ぐ瞬間も私にとっては最高です。

キャンプを通して、自然の厳しさ素晴らしさに触れて、いろいろな人に出会って、私は精神的にも大きく成長できたと思います。きっと幼少研のキャンプに参加していなかったら今の私はないと思います。だから是非、私が成長させてもらったキャンプに、早い段階から多くの子供に参加してほしいと思います。そんな私も今年度でキャンパー卒業です。これからも機会がある限りなるべく多くの活動に参加し、野外スキル・スキー技術ともに高め、さらにスタッフ側としても頑張っていきたいです。

●
CU 会員の皆さん、こんにちは。あっという間に 2012 年の 12 分の 1 が過ぎてしまいました。2012 年、始めの月はどんな生活を送りましたか？1 月は、大寒波におそろい寒い日々が続きましたよね。事務局があるつくばも毎日、とても寒いです。特に風が冷たいですね。でも、そんな寒いつくばでも、雪はあまり降らないんです。しかし、こないだその珍しい「雪」が降りました。雪が積もったつくばは、スキー場のおいがしました。そのにおいを嗅いだ瞬間…私は「スキーしたい!!!」と思ったのです。皆さんも雪を見るとそんな風に思いませんか？

まだまだ、スキーシーズンは始まったばかりです。是非、どんどんスキー場に出かけていき、スノースポーツを楽しんで下さいね。
(よっちゃん)

A black rectangular box with the text "FROM THE EDITOR" in white, bold, sans-serif capital letters.